



# A-Sync NewsLetter vol.1

Center for Agricultural and Life Sciences using Synchrotron Light (A-Sync)

## 園芸学会東北支部 公開シンポジウムにて、 次世代放射光施設について講演を行いました。

2021年8月26日オンラインで開催された、園芸学会東北支部の公開シンポジウムにおいて、センター所属の金山喜則教授が講演を行いました。「東北大学に建設される次世代放射光施設で何ができるか」というタイトルで、園芸学分野における放射光活用の可能性についてお話がありました。特に、野菜や果物、花の生産や品質に関わる研究は、これまで外観や抽出による分析に依存してきたため、得られる情報には限界がありました。放射光利用により、非破壊による内部構造の観察や、成分の局在性を可視化することが可能になります。既に、仙台市既存放射光施設活用事例創出事業（トライアルユース）で実施されているエダマメ（仙台市における主要作物であり、震災復興と産地の認知度向上のためにブランド化が推進されている）について、放射光を用いたイメージングにより内部構造を可視化し、食感との関係を検討することで、美味しさの見える化のための基礎的知見を得る研究が紹介されました。まだ放射光に対する認知度が低いようでしたが、講演と質疑を通して会場の皆さんに興味を持っていただくことができました。